



2021年1月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年3月17日

上場会社名 株式会社 ナイガイ
 コード番号 8013 URL <http://www.naigai.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今泉 賢治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門担当 (氏名) 市原 聡 TEL 03-6230-1654
 定時株主総会開催予定日 2021年4月28日 有価証券報告書提出予定日 2021年4月28日

配当支払開始予定日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (プレス向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年1月期の連結業績(2020年2月1日～2021年1月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期	11,688	30.2	1,807		1,747		1,837	
2020年1月期	16,741	3.7	256		177		446	

(注) 包括利益 2021年1月期 2,030百万円 (%) 2020年1月期 728百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年1月期	223.77		23.8	14.2	15.5
2020年1月期	54.35		4.9	1.3	1.5

(参考) 持分法投資損益 2021年1月期 22百万円 2020年1月期 8百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年1月期	11,773	6,694	56.9	815.43
2020年1月期	12,829	8,724	68.0	1,062.66

(参考) 自己資本 2021年1月期 6,694百万円 2020年1月期 8,724百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年1月期	321	104	2,099	5,437
2020年1月期	1,122	370	70	3,795

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年1月期				0.00	0.00			
2021年1月期				0.00	0.00			
2022年1月期(予想)				0.00	0.00			

3. 2022年1月期の連結業績予想(2021年2月1日～2022年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,500	22.9	30		40		35		4.26
通期	14,000	19.8	80		100		80		9.74

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年1月期	8,217,281 株	2020年1月期	8,217,281 株
期末自己株式数	2021年1月期	7,650 株	2020年1月期	7,040 株
期中平均株式数	2021年1月期	8,209,923 株	2020年1月期	8,210,491 株

(参考)個別業績の概要

1. 2021年1月期の個別業績(2020年2月1日～2021年1月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期	9,800	31.1	1,775		1,718		1,854	
2020年1月期	14,226	0.5	214		140		369	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年1月期	225.84	
2020年1月期	45.05	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2021年1月期	10,561		5,602		53.0	682.37		
2020年1月期	11,390		7,610		66.8	926.96		

(参考) 自己資本 2021年1月期 5,602百万円 2020年1月期 7,610百万円

2. 2022年1月期の個別業績予想(2021年2月1日～2022年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	5,840	35.3	25		21		円 銭
通期	12,500	27.5	70		70		2.56
							8.53

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる場合があります。業績予想に関しましては、添付資料4ページ「経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. 個別財務諸表	15
(1) 貸借対照表	15
(2) 損益計算書	17
(3) 株主資本等変動計算書	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、経済環境が急激に悪化し、未だ収束の見通しが見えない中で、先行き不透明な状況が続いております。

衣料品業界におきましても、政府の緊急事態宣言発出により、百貨店、商業施設の臨時休業、営業時間短縮に加え、感染防止対策としての外出自粛要請による消費活動の制限等で、各種集客イベントの中止などが相次ぎ、また世界的な渡航制限によるインバウンド需要の激減も重なり、消費需要は低迷したまま、依然として厳しい状況が続いております。

この様な状況の中、当社グループは、従業員、お客様、取引先様の安心、安全を最優先に考え、ナイガイ・オンラインショップをはじめとするインターネット通販事業の強化を推し進め、外出を控える消費者の購買行動変化に柔軟に対応するとともに、店舗販売におきましても、ステイホーム対応のレッグウェアやホームウェア、リラクシングウェアの販売に注力してまいりました。

一方、大幅な減収への対策として、期中での仕入抑制、在庫販売強化に注力するとともに、販管費の削減などの施策に取り組み、営業キャッシュ・フローの損失を最小限に抑えることを最優先課題とし、効率経営を徹底してまいりました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は11,688百万円（前年同期比30.2%減）、営業損失は1,807百万円（前年同期比1,550百万円の減少）、経常損失は1,747百万円（前年同期比1,570百万円の減少）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,837百万円（前年同期比1,390百万円の減少）となりましたが、第4四半期には営業キャッシュ・フローの黒字回復を果たし、在庫につきましても大幅な圧縮を達成し、次期での業績回復への道筋をつけることができました。

セグメント別の業績の概況は以下の通りであります。

(卸売り事業)

卸売り事業につきましては、2020年4月の緊急事態宣言発出時は、百貨店を中心に休業や営業時間の短縮措置が取られ、販売停止状態となりましたが、緊急事態宣言明けからは、全国百貨店を中心に、当社100周年フェアを順次開催するなどして、販売回復に努めました。

しかしながら、その後は夏場の第2波、冬場の第3波による感染再拡大の影響により、再び緊急事態宣言が発出されるなど、断続的に外出自粛要請が続き、各種販促イベントやシーズンセールを集客が中止または縮小となり、厳しい販売環境が続きました。

商品別には、各販路とも、コロナ禍での在宅時間の増加を背景に、ビジネスニーズであるパンストやビジネスソックスの需要は大きく減少しましたが、一方でイエナカ需要の高まりにより、ルームソックス、リラクシングウェア、パジャマ、エプロン等のホームウェアの販売は好調に推移しました。

これらの結果、当連結会計年度の卸売り事業の売上高は10,002百万円（前年同期比32.8%減）、営業損失は1,668百万円（前年同期比1,577百万円の減少）となりました。

(小売り事業)

小売り事業につきましては、外出自粛による消費者の購買行動の変化に対応すべく、9月より、子会社のセンターレワン株式会社で運営していた、レッグ・アンダーウェアのインターネット通販事業を当社に事業移管し、品揃えと商品供給量を増やすことで、幅広い顧客ニーズに応える体制を整え、販売拡大に注力してまいりました。

一方、ハッピーソックスを中心とする直営店事業は、緊急事態宣言による商業施設の長期休業と外出自粛要請による集客減少傾向の継続に加え、訪日客の入国制限によるインバウンド需要の減少により、苦戦を強いられました。

これらの結果、当連結会計年度の小売り事業の売上高は1,686百万円（前年同期比9.4%減）、営業損失は144百万円（前年同期比20百万円の増加）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末と比較して1,055百万円減少し、11,773百万円となりました。流動資産では、現金及び預金が1,642百万円増加し、受取手形及び売掛金が1,096百万円、商品及び製品が1,188百万円減少しました。固定資産は、有形固定資産が62百万円、投資有価証券が売却と時価の下落により208百万円減少しました。負債につきましては、前連結会計年度末と比較して974百万円増加し、5,079百万円となりました。借入金が長期、短期併せて2,098百万円増加し、支払手形及び買掛金が478百万円、電子記録債務が298百万円、返品調整引金が116百万円減少しました。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して2,030百万円減少し、6,694百万円となりました。これは当期純損失1,837百万円と投資有価証券の売却及び株式市場の相場下落によるその他有価証券評価差額金159百万円の減少等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、5,437百万円となり、前連結会計年度末と比べ1,642百万円増加しました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は321百万円(前年は1,122百万円の使用)となりました。これは主に、売上債権の減少1,079百万円及び棚卸資産の減少1,176百万円の増加項目と税金等調整前損失1,824百万円及び仕入債務の減少735百万円の減少項目によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は104百万円(前年は370百万円の獲得)となりました。これは主に、投資有価証券売却により11百万円獲得し、固定資産の取得に93百万円使用しました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は2,099百万円(前年は70百万円の使用)となりました。短期借入金及び長期借入金の借入により2,100百万円獲得しました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年1月期	2018年1月期	2019年1月期	2020年1月期	2021年1月期
自己資本比率(%)	64.0	67.1	65.7	68.0	56.9
時価ベースの自己資本比率(%)	36.2	33.2	29.1	28.1	22.5
キャッシュ・フロー対有利子負債(年)	0.5	0.5	0.8	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	96.5	97.0	59.2	—	—

(注) 自己資本比率 : 自己資本/総資産
 時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産
 キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/キャッシュ・フロー
 インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー/利払い

- 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
- 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。
- キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。
- キャッシュ・フローがマイナスの場合は「—」で表記しております。

（4）今後の見通し

次期連結会計年度も依然として新型コロナウイルス感染症による消費市場へのマイナス影響は続くと予測しており、次期事業計画につきましては、こうした不透明な状況が継続することを前提に設計しております。

卸売り事業では、アンダーウェア、リラクシングウェアで新ブランド展開により競争力強化を図るとともに、レックウェア、ホームウェアともシナジー連携を図りながら、コロナ禍における新しい生活様式に対応した新商品展開を強化し販売回復を図ってまいります。

チェーン店販路では、「整」「ノーチカ」「スケッチャーズ」など複数の新ブランド導入により、新規得意先開拓を積極的に押し進め商圏の拡大を行ってまいります。

また、一般専門店向けWEB卸につきましても専用サイトの得意先利便性を向上させ新規会員の拡大と受注拡大に注力してまいります。

併せて、リスク対策としましては市況の急激な変化に柔軟に対応できる適時適量調達による在庫コントロール及び販管費の使用抑制を徹底し、収益力の回復を目指してまいります。

小売事業ではハッピーソックス及びナイガイ直営店事業において、新しい顧客体験の提供による新業態を開発し事業拡大を目指すとともに、EC販売及びカタログ通信販売による無店舗販売の拡大強化を徹底してまいります。

以上の各セグメント別施策の遂行により、次期連結会計年度の連結売上高は14,000百万円、営業利益は80百万円、経常利益は100百万円を見込んでおります。

（5）継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当連結会計年度において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大幅な減収とそれに伴う営業損失の計上及びマイナスの営業キャッシュ・フローの計上を余儀なくされたことから、当連結会計年度末において継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせる状況が存在しております。

当社は、かかる状況下、不測の事態に備えたリスク回避策として、財務面では当面の運転資金として、新たに複数の金融機関より追加で計21億円の融資の実行を受け、当面の経営に支障をきたさない十分な資金調達を進めるとともに、営業面では大幅な仕入れ削減と過年度在庫販売の徹底強化、販管費の使用抑制を実行してまいりました。

これらの結果、当連結会計年度の営業キャッシュ・フローは、第4四半期において大幅な黒字回復を実現し、通期で321百万円のマイナスまで圧縮することができ、事業継続に十分なネットキャッシュポジションを維持しました。また、商品在庫は前年より1,188百万円圧縮し、1,556百万円と大幅な削減を実行し、財務安全性を回復いたしました。

2022年1月期の計画におきましては、一定程度の売上回復を見込みつつ、適時適量供給を前提とした仕入コントロールを徹底するとともに、既存販路事業の収益力改善に加えて、無店舗販売形態の小売事業拡大に注力することで、営業利益の黒字化と営業キャッシュ・フローの黒字化を見通しております。

以上のことから、現時点では当社グループにおいて、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当連結会計年度 (2021年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,811	5,453
受取手形及び売掛金	3,160	2,064
商品及び製品	2,744	1,556
仕掛品	8	9
原材料及び貯蔵品	83	91
その他	414	277
貸倒引当金	△34	△25
流動資産合計	10,189	9,426
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	297	263
減価償却累計額	△192	△204
建物及び構築物(純額)	104	58
機械装置及び運搬具	269	273
減価償却累計額	△242	△230
機械装置及び運搬具(純額)	26	42
土地	78	73
その他	613	552
減価償却累計額	△494	△462
その他(純額)	119	90
有形固定資産合計	328	265
無形固定資産		
その他	131	94
無形固定資産合計	131	94
投資その他の資産		
投資有価証券	1,956	1,748
長期貸付金	1	0
繰延税金資産	2	2
その他	226	249
貸倒引当金	△7	△14
投資その他の資産合計	2,179	1,987
固定資産合計	2,639	2,346
資産合計	12,829	11,773

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当連結会計年度 (2021年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	825	346
電子記録債務	744	445
短期借入金	236	2,034
未払金	389	367
未払法人税等	55	12
未払費用	120	127
返品調整引当金	486	370
賞与引当金	49	22
株主優待引当金	15	11
その他	67	51
流動負債合計	2,988	3,788
固定負債		
長期借入金	—	300
退職給付に係る負債	952	838
繰延税金負債	106	85
その他	56	67
固定負債合計	1,115	1,290
負債合計	4,104	5,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,691	2,000
資本剰余金	6,781	5,330
利益剰余金	△6,140	△834
自己株式	△4	△4
株主資本合計	8,328	6,490
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	299	140
為替換算調整勘定	96	63
その他の包括利益累計額合計	396	203
純資産合計	8,724	6,694
負債純資産合計	12,829	11,773

（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書
（連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2019年2月1日 至 2020年1月31日）	当連結会計年度 （自 2020年2月1日 至 2021年1月31日）
売上高	16,741	11,688
売上原価	10,399	7,904
売上総利益	6,341	3,784
販売費及び一般管理費		
運賃及び物流諸掛	956	770
広告宣伝費	688	510
役員報酬及び給料手当	2,449	2,241
福利厚生費	340	313
賞与金	128	53
賞与引当金繰入額	46	18
退職給付費用	72	63
株主優待引当金繰入額	12	9
不動産賃借料	290	278
支払手数料	778	696
減価償却費	112	94
貸倒引当金繰入額	8	△8
その他	714	549
販売費及び一般管理費合計	6,598	5,592
営業損失（△）	△256	△1,807
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	48	34
貯蔵品売却益	16	—
受取保険金	10	—
為替差益	10	19
助成金収入	—	38
その他	12	8
営業外収益合計	100	102
営業外費用		
支払利息	5	14
売上割引	4	4
持分法による投資損失	8	22
その他	2	1
営業外費用合計	21	43
経常損失（△）	△177	△1,747
特別利益		
固定資産売却益	6	—
投資有価証券売却益	337	6
助成金収入	—	67
受取保険金	10	—
特別利益合計	354	73
特別損失		
減損損失	—	91
臨時休業による損失	—	57
事業撤退損	205	—
特別調査費用等	311	—
特別損失合計	517	149
税金等調整前当期純損失（△）	△341	△1,824
法人税、住民税及び事業税	22	13
法人税等調整額	82	△0
法人税等合計	105	13
当期純損失（△）	△446	△1,837
親会社株主に帰属する当期純損失（△）	△446	△1,837

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年2月1日 至 2020年1月31日)	当連結会計年度 (自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)
当期純損失(△)	△446	△1,837
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△306	△154
為替換算調整勘定	11	△33
持分法適用会社に対する持分相当額	12	△5
その他の包括利益合計	△282	△193
包括利益	△728	△2,030
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△728	△2,030
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年2月1日 至 2020年1月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,691	6,781	△5,694	△4	8,774
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△446		△446
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△446	△0	△446
当期末残高	7,691	6,781	△6,140	△4	8,328

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	593	85	679	9,453
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△446
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△293	11	△282	△282
当期変動額合計	△293	11	△282	△728
当期末残高	299	96	396	8,724

当連結会計年度(自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,691	6,781	△6,140	△4	8,328
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△1,837		△1,837
自己株式の取得				△0	△0
減資	△5,691	△1,450			△7,142
欠損填補			7,142		7,142
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	△5,691	△1,450	5,305	△0	△1,837
当期末残高	2,000	5,330	△834	△4	6,490

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	299	96	396	8,724
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△1,837
自己株式の取得				△0
減資				△7,142
欠損填補				7,142
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△159	△33	△193	△193
当期変動額合計	△159	△33	△193	△2,030
当期末残高	140	63	203	6,694

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年2月1日 至 2020年1月31日)	当連結会計年度 (自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失(△)	△341	△1,824
事業撤退損	205	—
特別調査費用等	311	—
減損損失	—	91
臨時休業による損失	—	57
投資有価証券売却損益(△は益)	△337	△6
助成金収入	—	△106
受取保険金	△10	—
減価償却費	112	94
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△24	△2
賞与引当金の増減額(△は減少)	△0	△27
返品調整引当金の増減額(△は減少)	53	△116
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△115	△113
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△2	△4
固定資産売却損益(△は益)	△6	—
売上債権の増減額(△は増加)	394	1,079
たな卸資産の増減額(△は増加)	△235	1,176
仕入債務の増減額(△は減少)	△694	△735
その他	△126	△0
小計	△815	△435
利息及び配当金の受取額	50	35
利息の支払額	△5	△14
特別調査費用等の支払額	△311	—
助成金の受取額	—	106
保険金の受取額	10	—
法人税等の支払額	△50	△13
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,122	△321
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△157	△93
固定資産の売却による収入	14	—
有価証券の取得による支出	△200	—
有価証券の償還による収入	200	—
投資有価証券の取得による支出	△5	△1
投資有価証券の売却による収入	515	11
投資その他の資産の取得による支出	△28	△34
投資その他の資産の回収による収入	31	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	370	△104
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△35	1,800
長期借入れによる収入	—	300
長期借入金の返済による支出	△35	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△70	2,099
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	△31
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△817	1,642
現金及び現金同等物の期首残高	4,613	3,795
現金及び現金同等物の期末残高	3,795	5,437

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年4月23日開催の第123回定時株主総会において欠損填補を目的とする資本金及び資本準備金の額の減少及び剰余金の処分について決議し、2020年6月1日を効力発生日として資本金5,691百万円、資本準備金1,450百万円をそれぞれ減少し、同額をその他資本剰余金に振替えました。

また、会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金7,142百万円を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損填補いたしました。

この結果、当連結会計年度末において資本金2,000百万円、資本剰余金5,330百万円、利益剰余金△834百万円となっております。

なお、これによる株主資本の合計金額への影響はありません。

(追加情報)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、当社の主要販路である百貨店において、当連結会計年度の一部期間で営業自粛を行ったほか、当社直営店においても臨時休業や営業時間の短縮などの対応を行いました。

5月下旬の緊急事態宣言の解除後は徐々に売上は回復してはいましたが、2021年1月に再び緊急事態宣言が発出されるなど、収束時期を見通すことが困難な状況にあります。新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等については不確実性が高く、経済活動の回復は2021年の12月末まで持ち越すものと仮定し、固定資産の減損会計等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、靴下等繊維製品の企画、製造及び販売を行う「卸売り事業」とハッピーソックス等の直営店事業と革製品等の通信販売を行う「小売り事業」から構成されており、これら2事業を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年2月1日 至 2020年1月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	連結財務諸表計上額 (注)2
	卸売り事業	小売り事業			
売上高					
外部顧客への売上高	14,880	1,860	16,741	—	16,741
セグメント間の内部売上高又は 振替高	331	—	331	△331	—
計	15,212	1,860	17,073	△331	16,741
セグメント損失(△)	△90	△164	△255	△1	△256
セグメント資産	12,192	636	12,829	—	12,829
その他の項目					
減価償却費	101	10	112	—	112
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	153	26	180	—	180

(注) 1. 調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当連結会計年度(自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	連結財務諸表計上額 (注)2
	卸売り事業	小売り事業			
売上高					
外部顧客への売上高	10,002	1,686	11,688	—	11,688
セグメント間の内部売上高又は 振替高	218	0	219	△219	—
計	10,221	1,686	11,908	△219	11,668
セグメント損失(△)	△1,668	△144	△1,812	5	△1,807
セグメント資産	11,257	515	11,773	—	11,773
その他の項目					
減価償却費	77	17	94	—	94
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	67	25	93	—	93

(注) 1. 調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と一致しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年2月1日 至 2020年1月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産 (単位: 百万円)

日本	タイ	その他	合計
179	120	27	328

当連結会計年度(自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産 (単位: 百万円)

日本	タイ	その他	合計
122	131	11	265

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年2月1日 至 2020年1月31日)	当連結会計年度 (自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)
1株当たり純資産額	1,062.66円	815.43円
1株当たり当期純損失(△)	△54円35銭	△223円77銭

(注) 1. 前連結会計年度及び当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年2月1日 至 2020年1月31日)	当連結会計年度 (自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (百万円)	△446	△1,837
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(百万円)	△446	△1,837
普通株式の期中平均株式数(株)	8,210,491	8,209,923

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年1月31日)	当事業年度 (2021年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,082	4,896
受取手形	311	261
売掛金	2,628	1,676
商品	2,432	1,264
貯蔵品	58	62
前払費用	212	168
未収入金	106	81
短期貸付金	124	62
立替金	12	9
その他	56	20
貸倒引当金	△33	△19
流動資産合計	8,992	8,483
固定資産		
有形固定資産		
建物	99	53
工具、器具及び備品	68	55
その他	0	3
有形固定資産合計	167	112
無形固定資産	130	93
投資その他の資産		
投資有価証券	1,430	1,250
関係会社株式	363	363
関係会社出資金	9	9
長期貸付金	103	40
差入保証金	187	208
その他	13	15
貸倒引当金	△7	△14
投資その他の資産合計	2,099	1,872
固定資産合計	2,397	2,078
資産合計	11,390	10,561

(単位:百万円)

	前事業年度 (2020年1月31日)	当事業年度 (2021年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	256	39
電子記録債務	744	445
買掛金	492	230
短期借入金	200	2,208
未払金	268	243
未払法人税等	47	9
未払費用	97	109
返品調整引当金	486	370
賞与引当金	42	15
株主優待引当金	15	11
その他	53	38
流動負債合計	2,703	3,721
固定負債		
長期借入金	—	300
退職給付引当金	923	807
繰延税金負債	106	85
その他	46	46
固定負債合計	1,076	1,238
負債合計	3,780	4,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,691	2,000
資本剰余金		
資本準備金	1,997	546
その他資本剰余金	4,796	4,796
資本剰余金合計	6,794	5,343
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△7,142	△1,854
利益剰余金合計	△7,142	△1,854
自己株式	△4	△4
株主資本合計	7,338	5,484
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	272	117
評価・換算差額等合計	272	117
純資産合計	7,610	5,602
負債純資産合計	11,390	10,561

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2019年2月1日 至 2020年1月31日)	当事業年度 (自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)
売上高	14,226	9,800
売上原価	9,379	7,159
売上総利益	4,846	2,640
販売費及び一般管理費	5,060	4,416
営業損失(△)	△214	△1,775
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	52	38
貯蔵品売却益	16	—
為替差益	8	13
助成金収入	—	17
その他	3	7
営業外収益合計	81	76
営業外費用		
支払利息	2	13
その他	5	5
営業外費用合計	7	18
経常損失(△)	△140	△1,718
特別利益		
固定資産売却益	6	—
投資有価証券売却益	337	6
助成金収入	—	67
受取保険金	10	—
関係会社清算益	38	—
特別利益合計	393	73
特別損失		
減損損失	—	91
関係会社債権放棄損	233	61
臨時休業による損失	—	57
特別調査費用等	311	—
特別損失合計	544	211
税引前当期純損失(△)	△292	△1,856
法人税、住民税及び事業税	1	△1
法人税等調整額	76	△0
法人税等合計	77	△1
当期純損失(△)	△369	△1,854

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年2月1日 至 2020年1月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							株主資本合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	7,691	1,997	4,796	6,794	△6,772	△6,772	△4	7,708
当期変動額								
当期純損失(△)					△369	△369		△369
自己株式の取得							△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	△369	△369	△0	△370
当期末残高	7,691	1,997	4,796	6,794	△7,142	△7,142	△4	7,338

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	578	578	8,287
当期変動額			
当期純損失(△)			△369
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△306	△306	△306
当期変動額合計	△306	△306	△676
当期末残高	272	272	7,610

当事業年度(自 2020年2月1日 至 2021年1月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							株主資本合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	7,691	1,997	4,796	6,794	△7,142	△7,142	△4	7,338
当期変動額								
当期純損失(△)					△1,854	△1,854		△1,854
自己株式の取得							△0	△0
減資	△5,691	△1,450	7,142	5,691				
欠損填補			△7,142	△7,142	7,142	7,142		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	△5,691	△1,450	-	△1,450	5,288	5,288	△0	△1,854
当期末残高	2,000	546	4,796	5,343	△1,854	△1,854	△4	5,484

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	272	272	7,610
当期変動額			
当期純損失(△)			△1,854
自己株式の取得			△0
減資			
欠損填補			
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△154	△154	△154
当期変動額合計	△154	△154	△2,008
当期末残高	117	117	5,602